

+ Viva Kango

Campus News of Japanese Red Cross Hokkaido College of Nursing

日本赤十字北海道看護大学



第1回 大学祭 テーマ「生まれたて」

初めての大学祭が十一月六日(土)七日(日)の二日間にわたり開催されました。好天にも恵まれ、予想を超えた市民の方々の参加を得て成功裏に終了しました。

「生まれたて」というテーマは、無限に成長していく可能性を秘めた「看護婦(士)の卵」に第一期生である自分たちを重ね合わせた深い意味が込められています。

テーマにふさわしいプログラムはなんとと言っても約百四十名も参加し盛況だった「健康チェック」のコーナーでした。教員の協力は得ましたが、企画から実施まで数人でやり遂げました。

凝りにこった空間による写真部の「JAZZ喫茶」もたいへん好評で、ケーキと紅茶、コーヒーで別世界を演出していました。

台湾の震災への「チャリティバザー」は、大学周辺の住民に直接に伺って古着などを提供してもらい、約七万円を日本赤十字社を通して寄

付しました。

美しい着物姿で好評を博した茶道部の「お茶会」は行列ができるほどでした。クレープ、フランクフルト、チョコバナナ、焼きそば、豚汁、そば、うどんの模擬店は予想を超えた売り上げだったとか。

実行委員会では、もつと多くの学生に参加して欲しかったと言っています。今年には卵から雛になるのかしら。





弓道部

「弓道部へ
おいでまし」
弓道はなぜかわかりませんが、とりこになってしまいます。楽しいです。やめられません。矢を射て的に当たると気持ちいいです。



弓道は難しくありません。初心者も経験者も大歓迎です。一度弓道部へおいでまし。茶菓子用意し一同おまちしております。

ソフトバレー部

私たちソフトバレー部は、週二回活動し、大会は月に一回あり、予定が合う時に出場しています。練習内容としては、軽いウォーミングアップの後、ラリー形式で練習しています。

後、軽いウォーミングアップの後、ラリー形式で練習しています。

バスケットボール部

活動は週に一、二回で、主にゲームを行っています。わいわいがやがや楽しくやっています。部員十三名です。交流を深めるために、新年会、忘年会などパーティー中心です。温泉にも行きます。楽しいです。一度顔を出してみてください。盛り上がりましょう。マスターもリーダーもいるよ!

剣道部

私達剣道部は顧問の山本憲志先生のもと、週四回の早朝稽古を積んでいます。経験者、初心者皆一丸となり、それぞれが目標を持って稽古しています。平成十二年度からは北海道学生剣道連盟に加盟し、対外試合への参加を目指しています。少数ではありますが、活動は充実しています。興味のある方は、ぜひいらして下さい。

写真部

当部は「自由気ままな部」をめざしており、部員の自主性により、思うままに活動しています。活動内容は写真関係、マルチメディア、自動車研究、旅行(昨年は土日といえほどここにドライブでした)、音楽など様々な活動をしています。部員は二十五名程おり、一期生の男子は全員所属しており、部室は憩いの場となっております。

活動してはいます。新入生の方でとりあえずサークルに所属しておきたいという方にはおすすめの部です。私達茶道部では、お茶と日本の文化を学ぶために、北見藤女子高校茶道部顧問をなさっている西川範子先生を講師として週一回、西川先生のお宅でお稽古をしています。今までの活動としては、大学祭でお茶会を催し、皆さんにお茶の世界を楽しんでもらったり、茶道を通して他学校との交流を図るなどしています。

茶道部

私達茶道部では、お茶と日本の文化を学ぶために、北見藤女子高校茶道部顧問をなさっている西川範子先生を講師として週一回、西川先生のお宅でお稽古をしています。今までの活動としては、大学祭でお茶会を催し、皆さんにお茶の世界を楽しんでもらったり、茶道を通して他学校との交流を図るなどしています。

まだ部員は少ないのですが、是非茶道に興味のある人は見学、体験しに来て下さい。顧問は高橋幸枝先生です。部員一同皆さんをお待ちしております。



音楽部

「音楽を通じた交流を」音楽部は、介護福祉施設等の訪問演奏を主体として活動しています。体の不自由な老人の方々や障害の為に、施設を利用して下さる方々の方へ音楽を届けようと日々活動して

しています。新入生の方でとりあえずサークルに所属しておきたいという方にはおすすめの部です。私達茶道部では、お茶と日本の文化を学ぶために、北見藤女子高校茶道部顧問をなさっている西川範子先生を講師として週一回、西川先生のお宅でお稽古をしています。今までの活動としては、大学祭でお茶会を催し、皆さんにお茶の世界を楽しんでもらったり、茶道を通して他学校との交流を図るなどしています。



硬式テニス部

私達の硬式テニス部は、初心者が九九%をしめる、楽しむためのサークルです。ラケット、ボール、コート、ネットは全て大学にあるため、お金をかけることなく、楽しく遊びをまじえながらテニスをしています。横は牧場、背景は山々、上は青空、まわりはCleanな空気、そしてみなぎる私達。これはテニスをするには最高の環境!

新入生のみならず、初心者、経験者問わず、硬式テニス部に入っ

て、みなぎるダイナミックな大学生活をenjoyしませんか? 私たちのクラブでは、J・S・カーテイン先生のご指導のもと、日常生活に使う英会話を中心に、いろいろな国の言葉を学んでいます。また、北見市在住の外国人の方を招いて、一緒に楽しく活動しています。英語ができなくても平気! 気楽に入部して下さい

私達の硬式テニス部は、初心者が九九%をしめる、楽しむためのサークルです。ラケット、ボール、コート、ネットは全て大学にあるため、お金をかけることなく、楽しく遊びをまじえながらテニスをしています。横は牧場、背景は山々、上は青空、まわりはCleanな空気、そしてみなぎる私達。これはテニスをするには最高の環境!

ボランティアサークル

まだ活動は軌道に乗っていませんが、みなさんのアイデアでいろいろな活動に取り組んでいくことが出来ると思います。私たちは、ボランティアが特別なことだとは思っていません。「ちょっと時間あるし、何かしてみよっかな?」そんな時に、ほんのちよつとのチャレンジ精神で、お互い成長してみませんか?

バドミントン部

私たちバドミントン部が北海道三大学の交流試合に工大の方々と参加し、稗田菅原のダブルス二位の成績をおさめました。北海道新人戦でも三十二位でした。

練習は週二〜三回で、その他に自主練習をしています。来年度の目標としては、日本赤十字北海道看護大として団体戦に出場し、納得のいく試合、勝つことを目標に新入生を交え、頑張っていきたいとおもっています。



講座紹介

基礎看護学講座

基礎看護学講座は、学長でもある松木光子教授を先頭に、現在七名で構成しています。基礎看護学は、看護実践の基礎的な看護理論と、看護技術としての方法論の学問領域です。

すでに授業科目としては、看護学概論、看護方法学Ⅰ（援助的人間関係論）・Ⅱ（看護過程）・Ⅵ（基礎看護技術①）、基礎看護学実習Ⅰを終了しました。

研究分野としては、看護理論、看護の歴史、看護倫理、看護管理、看護教育等多岐に及びます。現在、講座としては「看護のイメージ」、「自己学習力に関して」、「腰痛に関して」等の共同研究を進めています。

成人・老人看護学講座

成人・老人看護学講座は、「成人看護学」、「老人看護学」の二つの学問領域で構成しています。成人期・老人期の心身の発達過程に基づき、健康増進、疾病予防、疾病のレベルの対応、自ら適切なセルフケアをとるのに必要な看護知識と技術を学ぶ科目の授業を設定しています。

三名のスタッフの最近の研究テ

ーマを紹介します。

河原田教授は、成人看護学と看護基礎教育の視点から、前任校での教育・実践活動の成果に関する研究をまとめています。

狩野講師は、自己導尿患者の感染防止対策について、臨床と共同研究をしています。

西片講師は、高齢者の糖尿病患者の食事療法に関するセルフケアについて研究をしています。

母子看護学講座

この世の中で、生命の誕生ほど神秘で素晴らしいものはない。大きな夢をいだいて次世代を継承する、女性・母性・新生児および子どもを対象に、性と生殖ならびにその成長発達に関わる事項を研究学習する学際的講座が「母子看護学」である。

我が国の看護史上で最古のフロンティアとして活躍してきた助産婦に関わる看護の分野である。母子看護は、古くから世間の人々にその必要性を認められ、馴染みのあるものとして存在している。

英語のNurseは、乳母・保育者の意味を持ち、母子看護は看護の中でも看板的存在である。即ち「母子看護学」は助産学や人間科学（人間の成長発達他）の発想の原点であり、基盤でもある。

広域看護学講座

広域看護学講座は、精神保健看護学と地域看護学で編成され、小児から老人までの発達領域を対象

とします。

精神保健看護学の研究分野は、

精神障害者の臨床看護やリハビリテーション、精神の健康問題全般に亘ります。地域看護学におけるそれは、地域における個人および集団の健康の保持・増進や健康教育、さらに在宅看護の分野にまで及びます。現在、講座の活動として、アルコール依存症者の地域における自助グループ活動に参加しています。

現構成員は、影山・大西・吉田・吉谷・近藤・高橋の六名です。

基礎科学講座

基礎科学講座は、主に基礎科目（一般教養科目）および専門基礎科目の授業を担当し、現在、教授四名、講師一名、助手二名の計七名のスタッフがいます。以下に、各分野の最近の主な研究テーマをご紹介します。

- 齋藤教授・根本助手 薬物誘起性嘔吐発現機序の解明と制吐薬の開発、脳血管性痴呆のモデル動物に関する研究。
- 大森教授・村林助手 神経および

び内分泌細胞における分泌メカニズムに関する研究

● 中岡教授 車いすの移送サービスの実態と普及に関する研究、バリアフリー公園の設計に関する研究。

● カートイン教授 戦後日本における家族構成の変遷について、婚姻・出産・離婚・女性の権利と教育に焦点を当てた研究。

● 山本講師 身体は無酸素性能力に関する研究、炭酸泉の循環系に与える効果に関する研究、看護婦の体力と活動量に関する研究。

5大学交流セミナー



【5大学交流セミナー開催】

平成11年10月30日（土）、本学を会場にオホーツク・大学間公開交流セミナーが開催されました。同セミナーは、オホーツク地域（網走管内）に位置する北見工業大学、北海学園北見大学（同短大）、東京農業大学、道都大学の教官有志により、研究者の交流の場として、また地域との連携を深める目的で過去9回開催されており、今回は本学も加わり、5大学による記念すべき第10回大会となりました。

当日は、総合テーマ「高齢化社会と地域における医療・看護・福祉の課題」のもと、松木光子学長の特別講演、看護実習施設見学会、4分科会による討論会、懇親会を開催し、北見市民を中心とする延べ約300人の参加者は、本学の諸施設の充実ぶりに感心するとともに、来るべき高齢化社会の諸課題に熱心に討議を重ねました。



初めての看護学実習

本学一年生の初の実習が、二月二十一日から、北見赤十字病院で始まりまして、学生は、ブルームのユニフォームに身を包み、同病院の看護婦の指導を受けながら血圧や脈拍を測り看護の現場を経験しました。

今回の実習は、基礎看護学の授業の一環で、一年生全員が参加、内科や外科など十四の診療科目がある各病棟に七、八人ずつ七グループに分かれ学生一人が患者一人を担当しました。百八人のうち半数の五十四人が二月二十一日から二十三日まで、

残りの半数が、二月二十八日から三月一日までの日程で病院での実習を行いました。



入試状況

平成十二年度推薦・一般入学試験の実施

本学の平成十二年度の入学試験が、昨年の十一月二十一日に推薦入試、今年の二月五日に一般入試を実施しそれぞれ合格発表を致しました。

昨年の十一月二十一日に実施致しました推薦入学試験は、本学を会場に受験生七十一名が小論文と面接を受け、三十七名(倍率二・四倍)の方が、合格致しました。

一般入学試験につきましては、今年の二月五日、本学と札幌会場及び東京会場の三カ所で二百八十五名(倍率四・一倍)の受



験生が、英語・小論文そして選択科目(数学・化学・生物)の中から一科目、計三科目の受験科目に挑みました。一般入試の合格発表は、二月十日、本学の学生玄関ロビーに合格者百三名の受験番号を発表致しました。

事務局から

図書館から

現在、図書館では以下の図書を所蔵し日々充実に向けています。和書約一二、〇〇〇冊(内看護学関係図書六、五〇〇冊)、洋書約三、〇〇〇冊、看護学関係専門雑誌五〇誌、その他の雑誌二〇誌、定期購読新聞七紙、看護学関係ビデオ三五〇本。

閲覧席は一階に一二〇席、二階に九〇席の計二二〇席があります。その他、教員閲覧室、共同学習室、調査研究室四室があります。また、視聴覚資料閲覧のためのビデオ四台、CD・ROM閲覧及び蔵書検索のためのパソコン八台が自由に利用できます。

開館時間及び貸出時間(暫定的)は午前九時三〇分から午後七時三〇分です(長期休業期間等の理由により変更することもあります)。

貸出に際しては図書館利用カードが必要です。

四月から、蔵書検索システムの運用を予定しています。検索システムは、図書館内及び研究室のパソコンから、インターネットのホームページを操作する要領で蔵書の検索が可能となる予定です。

新教員の就任について

今年の四月一日から新たに、下記の教員が就任される予定です。

- 基礎看護学講座 講師 佐藤 久美子
- 成人・老人看護学講座 講師 沼田 靖子
- 母子看護学講座 講師 中村 陽子
- 講 師 石 若 令 江

自転車置き場の増設

新生を迎えるにあたり、本学の自転車置き場が、手狭になったため十二年度に自転車置き場を、増設することにいたしました。

前期行事予定

- 4月 5日 入学式
- 4月 6日 新入生・在学生ガイダンス(～同7日)
- 4月10日 前期授業開始
前期履修登録(～同21日)
- 5月 1日 日本赤十字社創立記念日
- 5月 2日 臨時休業
- 6月23日 大学祭(～同25日)
- 7月21日 前期授業終了
- 7月24日 前期定期試験(～28日)
- 7月31日 夏期休業(～9月22日)
- 9月25日 追試験・再試験期間(～同29日)
- 10月 2日 後期授業開始

編集後記

★第二号にして早くもレイアウトを縦書きに変更させていただきました。少しでも読み易くこの配慮です。お許し下さい。

★今年の大学祭は一年生だけでの取り組みとなりましたが、看護大学らしい特色が現れた良い大学祭でした。北見の十月は既に寒風が吹きはじめ、屋外では何も出来ない状態です。来年度は気候の良い六月の開催となります。

★第二面には現在活動中のクラブを紹介しました。新生の積極的な参加を期待します。

★次号は六月に発行する予定です。是非、ご意見、ご感想をお寄せ下さい。

日本赤十字北海道看護大学学内誌

+ Viva Kango

第2号

発行日/2000年3月27日
編集・発行/広報委員会

〒090-0011 北海道北見市曙町664-1
Tel.0157-66-3311 Fax.0157-61-3125
mail to:kouhou@rchokkaido-cn.ac.jp